



令和5年度
愛知県通いの場コンテスト
～応募団体の取組と講評～

愛知県通いの場コンテスト 概要

【応募期間】 令和5年9月4日（月）～10月4日（水）

【応募団体数】 13団体

【募集テーマ】 通いの場が抱える課題とそれを解決した事例

<特に力を入れて取り組んでいる①～⑤のテーマを選択>

- ① 男性が参加しやすい取組（応募なし）
- ② 新たな参加者を増やす取組（2団体）
- ③ 参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組（7団体）
- ④ コロナの影響により中止していた通いの場を再開するための取組（応募なし）
- ⑤ 地域固有の高齢者が抱える生活課題の解決に向けた取組（4団体）



【最優秀賞】中野郷住宅コミュニティサロンゆるり（西尾市推薦）

<活動概要>

月1回、市営住宅の集会所において、ボランティアがサロンを開催している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>⑤

地域固有の高齢者が抱える生活課題である、
「閉じこもり、孤独死、買物難民」の解決に向けた取組

➡ **サロンに加えて、移動販売やラジオ体操を開催。**



<審査委員からのコメント>

- ・地域課題である市営住宅の孤独死の問題や、身近な親族に頼れる方がいないことも理解した取組。
- ・ **素晴らしいところは、移動支援やラジオ体操といった、高齢者が抱える生活課題に対応した取組に発展している。**
- ・ **来ている人たちの表情が良くなったとか、会話ができるようになったなど、運営者側が手ごたえを感じながら運営されていることが良く分かり素晴らしい。**
- ・ サロンをきっかけに、ニコニコマグネットを使った平時の安否確認などの取組に発展している。
- ・ 市営住宅での地域連携に学ぶ面が多い。



【優秀賞】ちくたくサロン（名古屋市推薦）

<活動概要>

毎週水曜日、賃貸アパートの一室において、ボランティアが昼食を作り、有料で提供する活動を行っている。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>②

新たな参加者を増やす取組

➡食事の提供に加えて、民生委員や地域包括支援センターなどの支援機関との連携を図り、高齢者のみではなく、多世代が参加できるようにしている。

<審査委員からのコメント>

- ・開催頻度も多く、アパートの一室や軒先、屋外も活用して地域に見えやすい工夫がされ、地域に開かれている。
- ・運営者と参加者を分けずに、垣根を低くした運営を行っており評価できる。
- ・参加者がやりたいことを容易に実現に移せることが魅力となり、参加継続に繋がっている。
- ・高齢者に参加が偏りがちなところ、10代の若者がボランティアとして参加しており興味深い。
- ・民生委員や地域包括支援センターとの連携が生まれている。
- ・今後、地域課題を意図的に解決する取り組みも期待したい。



【優秀賞】ほっとカフェ藤塚（日進市推薦）

<活動概要>

有志が月1回、集会所において、地域住民が気軽に集まってお茶をしながらおしゃべりする場を開催している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

- ➡未就園児から高齢者まで幅広い世代が参加できるように、カフェと同時に絵本の読み聞かせなどを実施。また、運動普及推進員による体操、カフェでのランチの提供、地域の方の絵画や写真、木彫りなどの作品の展示など内容の充実を図っている。
ちらしの発行やインスタグラムなどによる広報も行っている。

<審査委員からのコメント>

- ・高く評価してよい取組。他の市町村にもこういうことに取組んでいただきたい。
- ・高齢者に閉じないで、多世代交流の機会を作っていること、独居の方や孤立している方々へお弁当を届けるなど多角的に事業を展開している。
- ・移動支援、学習支援、会食などいろいろな取り組みをされており先進的。
- ・多世代交流を行うなど、通いの場を超えたまちづくりで、活発な活動が行われている。



『輪を作ろう！！』（岡崎市推薦）

<活動概要>

令和4年10月から自治会が月1回、集会所において、転倒予防教室を開催している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

➡ごまんぞく体操、グラウンドゴルフ、ペタンクとモルックを始め、体操や交流の場、買い物支援、環境美化、脳トレ、見守りや困りごとの手伝いなど、活動に幅を持たせて、どれかひとつでも参加できれば良いというスタンスで活動を行っている。



<審査委員からのコメント>

- ・高齢者個人の興味関心に合わせ、参加できる多様な機会を提供しており、男性参加者も多い。
- ・参加率が8割を超え、活動がしっかりと定着しており、今後とも活動を継続して行ってほしい。
- ・コロナ禍の影響を受けず、参加人数に変動がなかった点が評価できる。主体的な関りを維持できる工夫がされていると思われる。
- ・ご当地体操、公園清掃、町内清掃、認知症サポーターとの繋がりもある。
- ・活動場所について企業の協力が得られていることや、行政との連携が取れており評価できる。
- ・活動が生活支援活動に発展している。

のおピー健康体操（一宮市推薦）

<活動概要>

月に2回から4回、簡単な脳トレ、ちょっと効く筋トレ、いろいろダンスを地域の公民館で開催している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

➡「楽しい」という実感をもって、笑顔で参加できるように、会の雰囲気づくりを工夫している。

<審査委員からのコメント>

- ・もともと特養でやっていたものが、コロナ禍で施設が使えなくなり公民館に移動して、継続の道を探りながら続けられた粘り強さは大変素晴らしい。
- ・参加している方々が外出したり、友人関係ができたりするなど、体操教室から馴染みの関係をつくることに成功している。
- ・次の世代につなげていく仕組みがあるとよい。



たまり場せんりょう（豊川市推薦）

<活動概要>

月に3回から5回、ボランティアにより、作品作成、座談、脳トレ、体操等を地区市民館で開催している。



<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

➡市が養成した介護サポーター6名（60代後半～70代後半）が内容を考えて活動している。

<審査委員からのコメント>

- ・行政が養成した介護予防サポーターの方々が、非常に意欲的で、散歩の案内、情報などを工夫してコンテンツを作り上げていることや、サポーターの方々が参加者への声掛けをしたり、カンファレンスを開くなど行っていることが素晴らしい。
- ・地域課題の解決の取組をサポーター中心に行い、生き甲斐づくりなどの効果につながっている。
- ・参加者の声を活動に反映させながら作りあげている。
- ・サポーターが媒介となり、他地域への波及効果もある。

茶房がマッ茶（蒲郡市推薦）

<活動概要>

月に1～2回、有志により、お茶を飲んで懇談、体操、折り紙、洋裁などをアピタ蒲郡店で開催



<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>⑤

地域固有の高齢者が抱える生活課題である、「通いの場への移動手段、買い物支援」の解決に向けた取組

➡新型コロナウイルス感染症の影響で公共施設の利用制限を受けて、公共交通の利便性が良く、駐車場も確保でき、飲食や参加人数が制限されない施設で、無料で利用できる会場の確保に取り組んだ。

<審査委員からのコメント>

- ・民間のスペースを活用して、通いの場を広げていくことに取り組んでいることは大変素晴らしい、どこの市でもやってほしい取組。
- ・参加者が集まりやすい場所で通いの場を開催している。
- ・帰りに買い物をして、別の参加者が送っていくなどの好循環も生まれている。

ゆっくりサロン原（犬山市推薦）

<活動概要>

コロナにより開催しなかった月を除き、有志が月1回から2回、集会所やお寺の駐車場において、サロン活動を行っている。



<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

➡世話人によるサロンの事前打ち合わせで、近所の高齢者の情報を出し合い、活動内容や飲み物の検討、後の支援につなげるため健康状態や、民生委員や地域包括支援センターからの情報の伝達等を行う。

<審査委員からのコメント>

- ・ コロナ禍を経て活動が再開され、7年以上継続している。
- ・ データ分析ができてきている点は評価できる。
- ・ 男性参加者の対策が練られているのは評価できる。
- ・ サロンから協議体が設立され、災害対策、生活支援などの活動に発展しており大変評価できる。
- ・ 持続可能性のための創意工夫が至る所にされており大変評価できる。
- ・ 参加者が減ってきているので、第三者の意見を取り入れるなど活性化につなげられるとよい。

日長台いきいき隊（知多市推薦）

<活動概要>

月14回から26回、きづなルームにおいて、声掛け、お手伝い、趣味の支援を行っている。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>⑤

地域固有の高齢者が抱える生活課題である、「住民の移動手段」の解決に向けた取組

➡ひとり暮らしで足の悪い方、近くに身寄りのない方を対象に、予約制で病院やスーパーへの移送支援を行っている。

<審査委員からのコメント>

- ・地域の移動手段がなくなり、その課題解決に住民が取り組もうとしていることは評価できる。
- ・サロンから移送支援の取組に発展している。
- ・地域の外国籍の方との交流にも繋がっている。



認知症予防サロン「カフェ・ひまわり」（豊明市推薦）

<活動概要>

月に3回から4回、地域住民により、地域の認知症の方、フレイル患者の外出支援、認知症予防事業を行っている。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

➡週ごとに内容を変えて、毎週サロンに来ても飽きない内容にしている。

<審査委員からのコメント>

- ・認知症の方を対象としており、前日の夜に明日はサロンの日だよと電話をかけ、当日の朝にもまた電話をかけて、場合によっては迎えに行くというように、参加者に寄り添った対応をしている。
- ・柔軟なプログラム展開をしていたり、認知症になったら専門職に繋ぐことが多い中で、うちに来ていいんだよという受け入れ姿勢は非常に評価できる。
- ・認知症の方が参加しやすいように、毎週月曜日の10時というように時間設定までしっかり決めて、誉めることに徹するという工夫をしており非常によい。



地域の福祉拠点「れんこんカフェ」（愛西市推薦）

<活動概要>

NPO法人が月に6回から9回、地域交流、介護予防、高齢者福祉相談を実施している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>②

新たな参加者を増やす取組

➡行きたいと思えるサロン（カフェ）運営、日中独居や高齢者のみの世帯の困りごと相談と支援、常時交流室の解放とミニカフェの開催。



<審査委員からのコメント>

- ・高齢者のつぶやきや困りごと、気付いたものを必要な行政機関やサービスにつなぐ役割を果たしている。
- ・10年以上のサロン経営に加え、常設のミニカフェを開催し、地域に根付いた活動になっており、男性の参加者を増やした実績もある。
- ・居場所、希望を実現する場、よろず相談や助け合いの場としての機能も充実している。
- ・車いすの方をお迎えする配慮がされている。
- ・警察署員による防犯のお話や、地域の子どもとの交流にも繋がっている。

ヤング会（北名古屋市推薦）

<活動概要>

月に1回、学生さんによる座学と体操指導が行われ、高齢者と学生さんが和気あいあいと交流している。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>⑤

地域固有の高齢者が抱える生活課題である、「転倒予防、閉じこもり防止」の解決に向けた取組

➡老朽化に伴い改修工事がなされた県営住宅で高齢者の転倒が相次ぎ、自治会から転倒予防の相談が包括にあり、同時に専門学校の先生からも学生の学ぶ場についてのお話を聞いた包括職員が生活支援コーディネーターと協力してマッチングを支援した。

<審査委員からのコメント>

- ・地域の環境の変化を捉えて地域包括支援センターと住民が活動を起こしたところが非常に評価できる。
- ・専門学校との連携という、多様な主体の協力を得ながらやっている取組で興味深い。
- ・学生にとっていい学びの場になるのではないか。
- ・今後の活動の発展に期待したい。

健康タイム（長久手市推薦）

<活動概要>

まちづくり協議会が週に2回、30分、高齢者向けの体操を行っている。

<特に力を入れて取り組んでいるテーマ>③

参加者が通いの場へ継続的に参加しやすい取組

- ▶ 予約も欠席連絡も不要として、気軽に来られるようにしている。
来た人には代表者やスタッフが必ず声掛けを行っている。

<審査委員からのコメント>

- ・長久手市の街づくりらしい取組。
- ・主催者の交代もありながら、地域課題解決のために週2回の取組を継続している点は評価できる。
- ・社協のコミュニティソーシャルワーカーが入って、脳トレを行ったり、市の栄養士が入ったりしており、参考にすることが多い。

